

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立竹園小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができている。 ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述すること。 ・数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができている。 ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識を身に付けること。 ・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができる児童が多い。 ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする児童が多い。 ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数の学習は理解できているが、苦手意識をもっていること。 ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組むことができないこと。 ・観察や実験の進め方、授業の振り返りなどが十分にできていないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】目的に応じて、文章と図表などを結び付けることができるようになるために、説明文の読み取りや教科の横断的な学びを通して、積み重ねの学習を更に大切にしていく。学年別漢字配当表に示されている漢字を使えるようになるために、日々の漢字練習だけではなく、日記や感想文など書く活動を通して、今まで以上に丁寧に指導していく。</p> <p>【算数】課題に対して考える時間を十分に確保したり、考える手立てを提示しながら、自分の考えをしっかりと持てるようにする。児童同士で考えを交流する活動や発言する機会を多く設け、自分の考えや友達の考えをノートなどに書く練習を増やしていく。考える、話す、書くという活動を繰り返すことで、記述する力を伸ばせるようにしていく。</p> <p>【理科】身の回りにある物の特性などに目を向け、その中で問題を発見し、予想を立て、実験の進め方などを考えられるようにする。また観察や実験の結果から、差異点や共通点を見いだしたり振り返ったりし、次の活動に生かせるように指導していく。</p>

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の様子を見ていると、自分の話をしたい、聞いてもらいたいと思っている児童が多いように感じます。しかし、伝え方が分からなかったり、思ったことが上手に話せず困っていたりする児童がいます。学校でどんなことがあったのか、どのように感じたのかなど、お子様の話が聞ける時間を増やしていただけると幸いです。 ・読書の習慣を付けるため、学校では、読書タイムを活用したり、国語の授業で読書の幅を広げたりする機会を設けます。ご家庭でも、ゲームやテレビなどの時間を少しでも読書に回せるように声かけをしていただきたいと思います。 ・調査結果を踏まえ、子どもたちの成長につながるよう、学校でもさらに指導をしていきますので、引き続きご家庭や地域の方々のご協力をお願いします。
